

第2期大台町まち・ひと・しごと創生総合戦略

事業担当課による評価検証（令和3年度末）

令和4年7月

基本目標1 魅力あるしごと創り「地域資源の活用と既存企業との連携で魅力あるしごとを創る」

数値目標 商工会員数 351人 ➡ 2021年実績 361人

1	総合戦略の取組概要	KPI		R3年度の評価	R4年度の方向性
担当課	森林課	施策1、2による地域材活用製品等の売上額		地域材を活用した製品の開発・販売を目的に、町内の林業(生産・加工・流通等)を行っている事業者団体が取り組みを行っておりますが、新型コロナウイルスの影響により研修会や視察を行うことができませんでした。令和3年度については、試作品(スウェーデントーチ、集成材)の作成やPR用のHPの開設を行いました。また、製材品の流通販路拡大のためのパンフレット作成や原木を試験的に県内の業者に対して搬出を行った。	令和3年度に作成した試作品(スウェーデントーチ、集成材)の販売や活用方法について、検討を行い、町内外へ営業活動を実施する予定。 新たな流通販路開拓のため、作成したパンフレットを利用して、製材品の営業活動を実施するほか、試験的に県外の業者に納品する予定。また、原木の搬出についても県外も含め新たな搬出先を開拓し、地域産材の魅力をPRしていく。
プロジェクト	森林資源の活用による持続可能な森づくり	【2024年】 1,500万円/年			
概要	ユネスコエコパークに認定されている豊かな森林資源を活かした地域の産業力強化を目的として、森林資源(人工林、天然林)を活用した製品等の開発や販路開拓など、新たな「しごと創り」と「稼ぐ仕組みづくり」を支援することで雇用の創出に繋がります。 大台町で生産された木材や森林資源の利活用を促進するため、木製品等の開発や流通販売体制の整備を支援し、ユネスコエコパークから発信される付加価値の高い商品を提供します。	実績			
		2020(R2)	0万円/年		
		2021(R3)	0万円/年		
		2022(R4)			
		2023(R5)			
		2024(R6)			
		計			

2	総合戦略の取組概要	KPI		R3年度の評価	R4年度の方向性
担当課	産業課	施策2、3、4による売上額(累計)		奥伊勢ブランドとして展開している農作物(奥伊勢ゆず、奥伊勢ネギ、奥伊勢米つぶら)の売上額は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けたものの一定の売上額がありました。一方、農業体験についてはコロナ禍により感染防止対策の観点から実施することができませんでした。直近2年間で目標額を上回ることができましたので、引き続き、奥伊勢ブランドの確立に努めてまいります。	奥伊勢ブランドの統一基準の協議を進めながら新たな品目の構築を進めます。また、新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかった農業体験のプログラム化を進めます。他分野との連携についても農福連携の取組を他地域へ広げてまいります。
プロジェクト	奥伊勢FARMLAND大台	【2024年】 1,500万円			
概要	<p>農業体験のプログラム化や町内で生産された生産物のブランド化を図り、新規就農者等の担い手確保や高付加価値農業を推進し地域の活性化を図ります。</p> <p>大台町全域を一つの農場と位置づけ、担い手の確保に対応する支援や生産物のブランド化、農業体験プログラム化を図ることで多様な人材や農業収入の確保を図ります。</p> <p>更に、既存の取組みに加えて町の栽培重点作目を「奥伊勢ブランド」として付加価値を高め、多様なニーズに応じた販路の拡大を進めることで町全体の農産物出荷額の増加に繋がります。</p>	実績			
		2020(R2)	1,234万円		
		2021(R3)	1,145万円		
		2022(R4)			
		2023(R5)			
		2024(R6)			
		計			

基本目標2 魅力あるライフスタイルの構築「恵まれた環境を活かしたライフスタイルの構築をする」

数値目標 出生数 50人 ➡ 2021年実績 42人

3	総合戦略の取組概要	KPI	R3年度の評価	R4年度の方向性	
担当課	町民福祉課	大台町は子育てがしやすいと思う人の割合	<p>松阪子どもNPOセンターが実施する「産前産後サポート」を大台町民も利用できるよう、サポーターの養成や利用の橋渡しを支援しました。コロナ禍のために産院で両親学級が十分に受けられない現状にある妊婦と夫を対象に、パパママ講座を開催し、助産師・保健師・栄養士による沐浴指導や育児技術の指導を行うことで、安心して妊娠・出産に臨むことができるよう支援しました。</p>	<p>保健師の面談による母子健康手帳の交付を全数行い、妊婦の状況を早期から把握し、必要な支援に繋がります。助産師と協働してパパママ教室や電話相談、乳児訪問、乳幼児相談を継続して実施し、産前から産後早期にかけて途切れなく十分な支援が受けられる体制作りをします。</p>	
プロジェクト	すくすく育つ～各ステージに応じた切れ目ない支援～	【2024年】 75%			
概要	<p>結婚から妊娠、出産、子育てと各ステージに応じた切れ目ない支援を行い、大台町で結婚・出産・子育てをしたい人を増やすとともに子どもたちの郷土愛を育み、一度は大台町を離れても将来は町内に定住したいと思う人材を育成します。</p>	実績			
		2020(R2)			—
		2021(R3)			—
		2022(R4)			
		2023(R5)			
		2024(R6)			
		計			

4	総合戦略の取組概要	KPI		R3年度の評価	R4年度の方向性
担当課	町民福祉課	CLMの活用数		児童発達支援センターが設置され、専門職と協働し親子のふれあいを強化し、児の発達を促進するねらいで事業を展開しました。	児童発達支援センターの専門職との協働事業を継続し実施します。
プロジェクト	豊かな成長と発達～心身ともに豊かな子どもを育てる支援と虐待防止～	【2024年】 8件			
概要	<p>心身の発育・発達に課題のある子どもや障がいがある子どもたちに、日常生活に必要なスキルを身に付けられるよう専門職員等による療育・訓練を提供し、地域で安心して暮らせるよう支援します。子どもを虐待から守るため、関係機関が連携して発生予防と早期発見、早期対応に取り組みます。</p> <p>※CLMIは、保育や教育の現場で気になる子の行動などを観察し、「個別の指導計画」を作成するために、三重県立子ども心身発達医療センターが開発した子どもの育ちを見極め、適切な支援を行うためのツールです。</p>	実績			
		2020(R2)	16件	子育て支援センターに保育士を増員し、事業未利用者への支援を充実しました。CLMを副園長が中心となって実施するため現場でアドバイザー保育士に助言を得るとともに、定期的に会議を実施し、実施方法や情報等を共有しました。	子育て支援センターで事業未利用者への支援を継続します。各保育園で実施するCLMをアドバイザー保育士の助言を得ながら副園長が中心となって進めます。
		2021(R3)	26件		
		2022(R4)			
		2023(R5)			
		2024(R6)			
		計			

基本目標3 魅力と住みやすいまちを発信し、ひとを惹きつける

数値目標 観光入込客数 570,000人 ➡ 2021年実績 309,470人
 社会増減数 -30人 ➡ 2020年実績 -67人

5	総合戦略の取組概要	KPI	R3年度の評価	R4年度の方向性	
担当課	産業課	道の駅消費額	令和3年3月にフェアフィールド・バイ・マリオット三重おおだいがオープンしましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、客室の稼働率は低い状況が続いており、道の駅消費額増への波及効果にはつなげることが出来ませんでした。	新型コロナウイルス感染症の影響により、観光業は厳しい状況が続いており、マリオット三重おおだいの利用者など観光客による道の駅消費額を増やすことは難しいと思われまます。しかしながら道の駅奥伊勢おおだいは利用者の多くが地元住民であり、年間を通して安定的に農作物を集荷・販売し、地域密着型の道の駅として消費額の増に努めてまいります。	
プロジェクト	情報発信、宿泊滞在環境の充実	【2024年】 349百万円			
概要	情報発信やインバウンド対応などの観光インフォメーション機能を強化するとともに、集客・立ち寄り拠点の「道の駅奥伊勢おおだい」及び宿泊滞在拠点の「奥伊勢フォレストピア」を拡充整備し、観光予定者等に対する誘引機能と訴求機能を向上して観光交流人口を拡大し、物販や飲食、体験等サービスなどの観光消費を拡大します。	実績			
		2020(R2)			250百万円
		2021(R3)			258百万円
		2022(R4)			
		2023(R5)			
	2024(R6)				
		計			

6	総合戦略の取組概要	KPI	R3年度の評価	R4年度の方向性	
担当課	産業課	奥伊勢フォレストピア入込客数	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、全世界の観光業が大打撃を受けており、国内の観光業も非常に厳しい状況が続いています。このため宿泊者数は大きく減少いたしました。</p> <p>一方、コロナ禍によりアウトドアのニーズが高まり、自然の中で行うキャンプが非常に人気で利用者が増えています。</p> <p>新たなキャンプ場の開設により入込客増が期待されます。</p>	<p>コロナ禍により山荘やコテージの利用は厳しい状況が続くことが予想されますが、新たなキャンプ場の開設等により入込客数の増加につなげてまいります。</p>	
プロジェクト	「エコパークのまち」環境整備と観光誘致	【2024年】 77,000人			
概要	<p>従来からの観光資源のほか、アウトドア体験、農林漁業体験などの地域性を感じる滞在メニューによる観光誘致を進め、「エコパークのまち大台町」としての関心と知名度の向上を図り、町全体のブランド化に繋げていきます。</p> <p>このため「エコパークのまち」をコンセプトにした体験やツアー等の観光コンテンツと、その集客を町内に回遊する仕組みづくりを進めるとともに、それらが実施できる環境を整備します。</p>	実績			
		2020(R2)			50,858人
		2021(R3)			48,568人
		2022(R4)			
		2023(R5)			
2024(R6)					
		計			
7	総合戦略の取組概要	KPI	R3年度の評価	R4年度の方向性	
担当課	企画課	拠点運営者の仲介等を通じた開業数(累計)	<p>令和3年度は、空き家の利活用につながる活動として、利活用可能と思われる空き家の内観調査、クラフトマン支援として、ものづくりを生業とする、またはしたい人々の個々のニーズに合わせたサポートを提供するとともに、人材づくりとして、リターン人材に焦点を当てたワークショップを開催しました。</p>	<p>令和4年度は、令和3年度に引き続き利活用可能と思われる空き家の内観調査を実施し移住・定住の促進を図ります。</p> <p>クラフトマン支援として、地域ブランドの開発および広告宣伝に取り組み、まちの資源を活用することで地域としての魅力向上を図ります。</p> <p>人材づくりとして、場所を選ばない仕事スキルの習得に取り組み、町内でも就業できる人材を育て人口の流出防止を図ります。</p>	
プロジェクト	人が集い、繋がるまちづくり～遊休施設を活用した関係人口増プロジェクト～	【2024年】 8社			
概要	<p>空き家バンク・空き店舗バンク利用者(移住者・町民も含む)により“ものづくり”と“起業”が少しずつ起っています。この動きを更に促進させるために、旧川添郵便局をアーティストやクリエイターの活動拠点として整備・活用を図り、その他の沿道施設も機能拡充など改装改築を進め、地域としての面的な魅力を高めます。</p>	実績			
		2020(R2)			1社
		2021(R3)			1社
		2022(R4)			
		2023(R5)			
2024(R6)					
		計			

8	総合戦略の取組概要	KPI		R3年度の評価	R4年度の方向性
担当課	教育課	漕艇場利用団体数		国体の開催年ということもあり、国体強化選手等の利用が多くあったものの、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、水上カーニバルや国体が中止になり、ボート競技の躍進及び気運も少し低迷してしまった感があった。ただし、リハーサル大会である東海総体や、国体の代替大会が実施できたことは評価できると考える。	水上カーニバルを小規模でも実施できるように検討していくとともに、小中学生等を対象としたボート体験を実施していく。漕艇場利用団体数の維持を図っていく。
プロジェクト	ボートのまち大台町への躍進プロジェクト	【2024年】 10団体／年			
概要	三重県内唯一の漕艇場を有する「ボートのまち」という大台町の特徴を活かし、2021年に開催される三重とこわか国体を機に、ボート競技の振興を図るとともに、交流人口の拡大及び関係人口の創出から大台町の知名度アップへと繋がります。	実績			
		2020(R2)	10団体		
		2021(R3)	11団体		
		2022(R4)			
		2023(R5)			
		2024(R6)			
計					

基本目標4 将来像を見据えた地域づくりでまちの魅力を最大限に発揮する

数値目標 住みやすいと思う人の割合 50%

9	総合戦略の取組概要	KPI		R3年度の評価	R4年度の方向性
担当課	企画課	拠点集約事業数		<p>小さな拠点事業をどのように進めるかを検討した、まちづくりプラン(ビジョン案)を策定し、プランに関する意見交換会を町民の方々と実施しました。</p> <p>小さな拠点づくりでは、地域の方に主体的に活動してもらうことが必須であることから、町広報紙にて、プロジェクトを周知するとともに、小さな拠点事業に興味のある方等の募集を行いました。</p>	<p>小さな拠点づくりでは、地域の方に主体的に活動してもらうことが必須であることから、3年度に引き続き、町広報紙等でプロジェクトを周知するとともに、小さな拠点事業に興味のある方等を募集したい。</p>
プロジェクト	小さな拠点で地域と人を繋ぐ	【2024年】 7事業			
概要	<p>高齢化や過疎化が進む地域では、商業施設等が減少するなど生活サービスの低下が進んでいます。そのため、行政、買い物、文化、医療等、日常のサービス機能を集約し拠点を形成するとともに、地域内の集落を地域公共交通ネットワークで結ぶことにより、地域住民が集いつながる機会を創出します。</p>	実績			
		2020(R2)	0事業		
		2021(R3)	0事業		
		2022(R4)			
		2023(R5)			
	2024(R6)				
	計				

10	総合戦略の取組概要	KPI	R3年度の評価	R4年度の方向性	
担当課	生活環境課	ごみ減量化	令和元年度に開始された容器包装プラスチック類の分別が定着し、可燃ごみから資源ごみへの分別が進んだことから重量が減少した。	スマートフォン向けアプリ等のICTを活用した情報発信を行い、可燃ごみの中の資源化できる紙類や容器包装プラスチック類の分別、生ごみの減量化を推進する。	
プロジェクト	豊かな環境を未来につなぐ	【2024年】 564.0g/人日			
概要	ユネスコエコパークに全域を認定された当町では、自然との共生を図りながら、循環型社会と低炭素社会に向けた取り組みを統合的に展開することで、持続可能な社会の実現を目指しています。 人口減少が進む中、超高齢社会を迎える当町では、生前整理や遺品整理によるごみの増量が懸念されます。また、可燃ごみの中には、分別をすれば資源化できる可能性のあるものやごみ重量の多くを占める生ごみについても、食品ロスの削減、減量、資源化の余地があります。このような中で、令和2年3月に策定した一般廃棄物処理基本計画に基づき、循環型社会の形成に向けた取り組みをさらに促進します。	実績			
		2020(R2)			601.0g/人日
		2021(R3)			597.3g/人日
		2022(R4)			
		2023(R5)			
2024(R6)					
		計			
11	総合戦略の取組概要	KPI	R3年度の評価	R4年度の方向性	
担当課	企画課	マイナンバーカード普及率	Society5.0を効率的・効果的に推進すべく、総務省の地域力創造アドバイザー制度を活用し、アドバイザーに庁舎内勉強会の実施や大台町DX基本計画、大台町のデジタル化等に関する助言・提案をいただきました。 また、広域での取り組みとして、スーパーシティ構想やデジタル田園都市国家構想等の国の取り組みに積極的に関与しました。 マイナンバーカード普及促進としては、町広報紙やケーブルテレビにて広報し、休日にマイナンバーカードの受取窓口を開設しました。	大台町DX基本計画の策定完了および、DX推進部会等を実施し、課題の洗い出しや職員のITリテラシー向上を図ります。 近隣市町、民間企業等と協働しながら、デジタル田園都市国家構想に取り組み、先端技術の活用による地域課題解決や住民サービスの向上を目指します。 デジタルデバインド対策として、スマートフォンやマイナンバーカード等に関する学習会を町内で実施します。	
プロジェクト	Society5.0の推進による持続可能な地域づくり	【2024年】 30%			
概要	社会や生活の変化に対応した、より利便性の高いサービスを提供することで、あらゆる場面においてデジタル化による生活の豊かさを享受することができる、魅力あるまちづくりを推進します。 少子高齢化の進行をはじめとする社会環境の変化に伴い、地域医療の減少や医療費の増加、公共交通空白地の増加、林業等地域産業の衰退や減少など、従来の手段や施策では解決が困難な地域課題が増加しています。IoTやAIなど、先端技術の活用によりデジタル化を推進し、持続可能な地域社会の構築を目指します。	実績			
		2020(R2)			17.6%
		2021(R3)			28.6%
		2022(R4)			
		2023(R5)			
2024(R6)					
		計			